



ハッピー
ハロウィーン!

実習生も利用する
ショッピングモ-
ール内のハロウィン
飾り

あじけん通信

2022 OCTOBER

VOL.178

企画・編集 澁谷 健司 / 栗又 由利子

10月に入り11日(火)には、政府の水際対策が緩和され、入国者に対する待機措置が原則不要となりました。これで最後まで残っていたベトナム人実習生の5日間の自主隔離もなくなり、当校では2020年の8月以来実施してきた寮等に待機する実習生とのリモート授業が全面的に終了しました。リモートには、リモートなりの利点もありましたが、やはり教室内でお互いに対面し、五感を使ってコミュニケーションを伸ばしていく授業に勝るものはありません。「これで思う存分実習生と授業ができる!」と講師陣からも安堵の声が聞こえています。一方で、新型コロナウイルスの感染に対しては、今後も気を緩めることなく感染防止対策を続けていく必要があります。これからが本当の意味でのwithコロナとの認識を持ち、実習生の皆さんが安心して寮生活を送り、元気に日本語学習に励めるよう講師・スタッフ一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。

あじけんスコープ Vol.114 ~ミャンマー女性の伝統的な民族衣装~

今月は、最近当校でも受け入れが増えてきているミャンマー人実習生の皆さんの色鮮やかな民族衣装姿をご紹介します。

右の写真は日本語講習最終日に、みんなで民族衣装を着て当校してきたところを撮影させてもらったものです。この日は1日中この衣装で授業に参加していたので、学校全体がとても華やかな雰囲気に包まれました。

ユニークなのは、衣装には特に決まった柄や形があるわけではなく、唯一共通しているのは、彼女たちが履いているロンジと呼ばれるロングスカートの形だけだそうです。そのロンジの柄に合わせて、皆思い思いの柄やデザインの服をコーディネートしているそうです。

女子大学生の登校時や、お寺へのお参りの時などに着ることが多いそうです。



思い思いの民族衣装で講習修了を祝したミャンマー人実習生の皆さん

今月の実習生



今月は14歳の時に日本のアニメ「一休さん」と出会い、それ以来独学で日本語を勉強してきたという中国人実習生、郭翔(カクショウ)さんをご紹介します。アニメから日本語学習に入った他の学習者同様に、郭さんもとても自然で流暢な日本語を話し、会話中に冗談も飛び出すほどで、教務室でもすぐに話題となりました。

郭さん、実習先では辛いこともあるでしょうが、憧れの日本での技能実習に励む中で、沢山のひとと出会い、親交を深め、日本語力にも更に磨きをかけていってください!先生たちも応援しています!

はじめまして、わたしはかくしょうと申します。中国の上海から来た14歳の時、アニメに影響されて、日本の文化や習慣に憧れるようになりました。その日本語のテキストや辞書を買って勉強を始めました。インターネットで会話練習もしました。そして、この20年の間で、日本語が徐々に上達してきました。

ことし、憧れの日本にこれてうれいです。ぜひ日本語カンターではたせん日本人の先生にでなて、話し、勉強したりします。先生方は時にはきやく、時にはやさしいですばらしいと思ひます。私の目標は、日本人の彼女と付合つて結婚することです!!

あじけん流日本語授業

～健康チェック ペアづくりの工夫～

今月のあじけん流日本語授業は、毎朝、実習生でペアになり行っている「健康チェック」をする際の講師のちょっとしたアイデアをご紹介します。この活動の目的は、毎朝日本語を使って、体調はどうか、何時に寝て、何時に起きたのか、朝ごはんは食べたか、何を食べたか、このような質問をお互いにする事で、その日の体調をチェックしたり、基本的な日本語を聞いたり話したりできるようになってもらうことです。

しかしながら、いつもペアになるのが隣の实習生や前後の实習生ではだんだん飽きてきてしまいます。そこで、日本語がわからないとペアが見つからないようなペアづくりをしています。

まず1つ目は、「色」を使ったペアづくりです。折り紙を内側に折ったものと、色の名前が書いてある紙が同じ袋に入っています。それを、実習生は1枚引きます(写真①)。自分と同じ色の折り紙または、色の名前が書いてある紙を持っている人を探し(写真②)、ペアとなります(写真③)。「色」に関する日本語がわからないとペアが見つかりません。

次は、質問が書いてある紙とその答えが書いてある紙を持っている人を探して、ペアになるという活動です。まず、先生が作成した質問カードと、答えカードをランダムに配ります(写真④)。質問カードを持っている実習生は、前に出てきて、カードに書かれている質問を読みます(写真⑤)。その質問の答えを持っている実習生は手を挙げ、カードを読みます(写真⑥)。質問の内容と答えが合っていれば、ペアになります。この活動は、そのクラスの進捗やレベルによって質問の内容を変えることもできます。

単調になりやすい毎日のルーティン活動が、少しでも実習生の日本語向上に役立ち、そして楽しく学べる授業内容をこれからも研究していこうと思っております。



写真1：折り紙と色の名前が書いてある紙をひく



写真2：同じ「色」のペアを探す

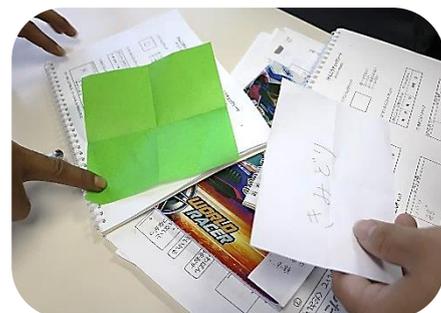


写真3：黄緑の折り紙と「きみどり」



写真4：質問と答えの紙を配付します



写真5：質問カードを読み上げます



写真6：答えが見つかりました。ペア成立！